

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害に関する関東地方測量部の対応 Responses of Kanto Regional Survey Department to the Kanto-Tohoku Heavy Rainfall Disaster in September 2015

関東地方測量部 Kanto Regional Survey Department

要 旨

関東地方測量部は、鬼怒川の氾濫など甚大な被害が発生した平成 27 年 9 月関東・東北豪雨への対応として、体制を確保し、関東地方整備局をはじめとする関係機関へ各種地理空間情報を提供した。

本報告では、提供した地理空間情報及びその利活用事例を紹介する。

1. 関東地方測量部の体制

関東地方測量部では、以下のとおり体制を確保し、災害対応した。

9 月 10 日（木）3 時 55 分 警戒体制

9 月 10 日（木）7 時 45 分 非常体制

2. 職員派遣

国土交通本省に設置された国土交通省災害対策本部へ 9 月 13 日（日）と 14 日（月）の両日、肥後防災企画係長を DiMAPS による情報集約の支援要員として派遣した。

3. 提供した地理空間情報

3.1 関東地方測量部が提供した地理空間情報

関東地方測量部では、本院で撮影した斜め写真や推定浸水範囲等の各種地理空間情報を関係機関へ提供した。提供した地理空間情報は以下のとおりである。

- ・災害対策図
- ・陰影段彩図に破堤箇所を表示した地図
- ・斜め写真
- ・垂直写真
- ・垂直写真による正射画像
- ・推定浸水範囲
- ・被災前後の比較空中写真
- ・無人航空機（UAV）による動画

3.2 提供先

関東地方測量部から以下の関係機関へ情報を提供した。

- ・関東地方整備局企画部防災課
- ・関東地方整備局河川部河川計画課
- ・茨城県生活環境部防災・危機管理局防災・危機管理課
- ・茨城県土木部河川課
- ・茨城県農林水産部農村計画課
- ・栃木県県民生活部消防防災課危機管理・災害対策室

4. 提供した地理空間情報の利活用事例

関係機関へ提供した地理空間情報は、被害状況の把握や復旧活動のための資料として活用された。茨城県が作成した図-1 はその一例で、提供した「推定浸水範囲」の情報が、「浸水区域見取図」として活用され、農業関連施設の被災状況の把握等に用いられた。

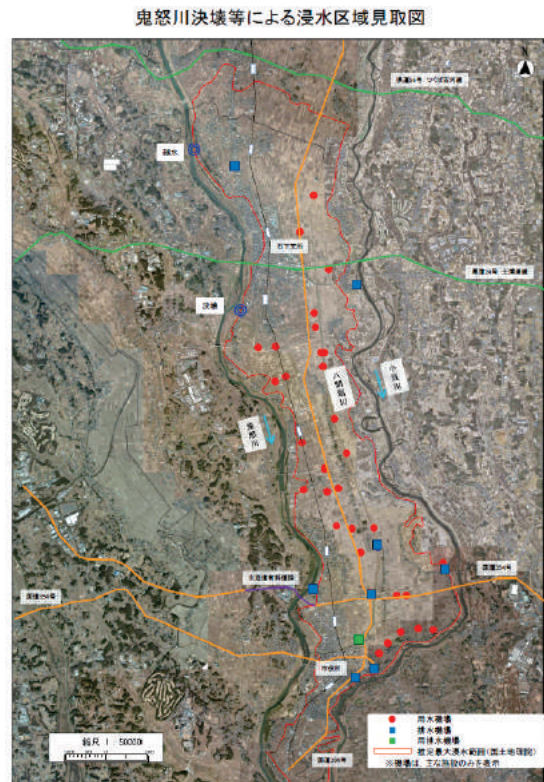


図-1 鬼怒川決壊等による浸水区域見取図

5. まとめ

関東地方測量部では、管内で発生した今回の災害対応において関東地方整備局や被災自治体等へ各種地理空間情報を提供した。今後も引き続き迅速な初動対応を行うとともに、防災・減災に重要な地理空間情報の提供に取り組んで参りたい。

(公開日：平成 28 年 3 月 31 日)